学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

１　日時　　令和６（2024）年　　月　　日（　　曜日）第　　校時

２　本時の学習 （　　時間目／　　時間扱い）

（１）本時の目標

「７　単元の指導計画」において設定した本時の目標を記述する。

（２）本時の評価規準（評価の観点　　　　　　　　　　　　　　評価方法　　　　　　　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| Ｂ（おおむね満足）の評価規準 | 「７　単元の指導計画」において設定した本時の評価規準を、Ｂの評価規準として記述する。Ａと判断できる生徒の姿は、いわゆる青天井であり多様である。１つの文章で　表記できるものではない。Ｂの評価規準を基に、想定できる例をいくつか挙げるとよい。記入例　Ｂ　～考察し説明している。Ａ：　～様々な根拠を基に多面的、総合的に考察して説明している。全ての生徒が目標を実現しおおむね満足と判断できるように指導に当たることが大切である。Ｃと判断できる場合は、その生徒への指導や支援を考え表記する。 |
| Ａ（十分満足）と判断する具体的な例 |  |
| Ｃ（努力を要する）と判断する生徒への指導や支援 |  |

（３）この授業を実施する際のポイント（働かせる理科の見方・考え方、主体的・対話的で深い学びなど）

（４）教材・資料・探究シート等　教科書『□□□□□』（△△△出版）

（５）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容・学習活動 | ・指導上の留意点○又は◎評価規準⁽評価の観点）【評価方法】 |
| 導入(　分) | **□**学習内容・学習活動本時の目標を実現するための学習内容を位置付け、その学習活動を表記する。 | **□**指導上の留意点生徒が主体的に学習活動に取り組むように指導に当たるための留意点を記述する。課題：△△は▲▲に関係するかを調べる。 |
| 展開(　分) | □課題課題は、科学的な探究を通して解決することが可能な表記とする。例えば、探究する自然事象の因果関係が　　明確な場合は、「△△は▲▲に関係するかを　調べる」のように、従属変数（△△）と独立変数（▲▲）を明確にして表記するとよい。また、授業によっては「本時の目標」を板書することもある。 | □○又は◎評価規準「７　単元の指導計画」において設定した　　本時の評価規準を、適当な箇所に位置付ける。１コマの中で、評価できる評価規準は１つ　程度である。本時の評価規準である○又は◎を適切に位置付けるとよい。（　）の中に評価の観点を、【　】の中に評価方法を記述する。 |
| まとめ(　分) |  |  |